平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年１月29日

上場会社名　未来工業株式会社　上場取引所　名
コード番号　7931　ＵＲＬ　http://www.mirai.co.jp/
代表者　（役職名）取締役社長　（氏名）瀧川　克弘
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営企画部長　（氏名）相崎　有平　ＴＥＬ　0584-68-1200
四半期報告書提出予定日　平成25年２月１日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年３月21日～平成24年12月20日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	23,925	10.3	2,915	26.5	2,870	28.0	1,550	△7.5
24年３月期第３四半期	21,691	5.9	2,304	5.0	2,242	3.9	1,675	37.6

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　1,590百万円（－%）　24年３月期第３四半期　1,695百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	64.97	－
24年３月期第３四半期	69.95	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	53,384	41,559	77.6
24年３月期	52,439	40,638	77.3

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　41,432百万円　24年３月期　40,537百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	14.00	－	14.00	28.00
25年３月期	－	14.00	－		
25年３月期（予想）				16.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　有

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年３月21日～平成25年３月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,760	8.3	3,210	20.3	3,130	21.2	1,838	△7.9	77.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	25,607,086株	24年３月期	25,607,086株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	1,743,116株	24年３月期	1,742,874株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	23,864,142株	24年３月期３Ｑ	23,955,592株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における我が国の経済は、世界経済が弱含みで推移したことによる輸出や設備投資等の鈍化に加え、雇用・所得環境の先行き不安等による個人消費の低迷から、先行きの不透明な状態が続くところとなりました。

当社グループの事業関連である設備工事業受注状況は、前年同四半期に比べ回復傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開した結果、売上高は239億25百万円と前年同四半期に比べ22億33百万円(10.3%)の増収となりました。利益につきましては、増収効果等により営業利益は29億15百万円と前年同四半期に比べ６億10百万円(26.5%)の増益、経常利益は28億70百万円と前年同四半期に比べ６億28百万円(28.0%)の増益となりました。四半期純利益は15億50百万円と保険解約返戻金７億41百万円を計上した前年同四半期に比べ１億25百万円(7.5%)の減益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

なお、前連結会計年度において、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（電材及び管材）

電材につきましては、太陽光発電の屋外配線に最適な耐候性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキ」に加え「プールボックス」やビニル電線管付属品等が順調に増加いたしました。また、管材につきましても「ミラペックス」等の給水給湯用の樹脂管類とその継手が増加した結果、売上高は190億84百万円と前年同四半期に比べ16億62百万円(9.5%)の増収となりました。営業利益は28億24百万円と前年同四半期に比べ３億75百万円(15.4%)の増益になりました。

（配線器具）

配線器具につきましては、新規顧客の開拓等により「Ｊ－WIDE」等の配線器具が増加した結果、売上高は34億71百万円と前年同四半期に比べ３億５百万円(9.6%)の増収となりました。営業利益は２億39百万円と前年同四半期に比べ55百万円(30.2%)の増益になりました。

（その他）

その他につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」の売上が堅調に推移したため、売上高が13億69百万円と前年同四半期に比べ２億65百万円(24.0%)の増収となりました。営業利益は３億３百万円と前年同四半期に比べ２億77百万円の増益になりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて９億44百万円増加し、533億84百万円となりました。その主な要因は、増収により受取手形及び売掛金が16億87百万円増加、流動資産のその他が４億78百万円増加したものの、配当金や法人税の支払により現金及び預金が12億20百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて22百万円増加し、118億24百万円となりました。その主な要因は、増収に伴う生産高の増加により支払手形及び買掛金が８億19百万円増加したものの、法人税等の納付により未払法人税等が６億71百万円減少、約定返済により長期借入金が１億50百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて９億21百万円増加し、415億59百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が８億82百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

この四半期決算短信と同日(平成25年１月29日)に公表いたしました業績予想の修正に関するお知らせをご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月20日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月20日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,170	19,950
受取手形及び売掛金	8,780	10,468
商品及び製品	3,369	3,398
原材料及び貯蔵品	809	903
繰延税金資産	645	420
その他	1,128	1,606
貸倒引当金	△14	△46
流動資産合計	35,889	36,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,321	3,215
機械装置及び運搬具（純額）	1,161	1,193
土地	6,554	6,554
建設仮勘定	245	278
その他（純額）	526	429
有形固定資産合計	11,809	11,671
無形固定資産	99	112
投資その他の資産		
投資有価証券	924	1,258
繰延税金資産	661	583
長期預金	2,800	2,800
その他	376	377
貸倒引当金	△121	△120
投資その他の資産合計	4,640	4,899
固定資産合計	16,550	16,682
資産合計	52,439	53,384
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,801	5,620
短期借入金	453	461
1年内返済予定の長期借入金	371	351
未払法人税等	943	271
賞与引当金	―	384
役員賞与引当金	37	27
災害損失引当金	72	70
その他	2,589	2,242
流動負債合計	9,268	9,429
固定負債		
長期借入金	703	552
再評価に係る繰延税金負債	224	224
退職給付引当金	1,078	1,025
役員退職慰労引当金	260	295
その他	266	297
固定負債合計	2,533	2,394
負債合計	11,801	11,824

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月20日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月20日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	8,913	8,913
利益剰余金	28,138	29,020
自己株式	△1,311	△1,311
株主資本合計	42,808	43,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	29
土地再評価差額金	△2,287	△2,287
その他の包括利益累計額合計	△2,271	△2,258
少数株主持分	100	127
純資産合計	40,638	41,559
負債純資産合計	52,439	53,384

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月21日 至　平成23年12月20日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年３月21日 至　平成24年12月20日）
売上高	21,691	23,925
売上原価	13,730	14,866
売上総利益	7,961	9,058
販売費及び一般管理費		
運賃	1,140	1,264
貸倒引当金繰入額	4	34
役員報酬	123	130
給料及び手当	2,046	2,128
賞与引当金繰入額	142	144
役員賞与引当金繰入額	28	27
役員退職慰労引当金繰入額	26	54
その他	2,144	2,358
販売費及び一般管理費合計	5,656	6,143
営業利益	2,304	2,915
営業外収益		
受取利息	19	19
受取配当金	6	6
保険事務手数料	5	5
作業くず売却益	6	5
その他	45	57
営業外収益合計	84	94
営業外費用		
支払利息	21	17
売上割引	99	103
支払補償費	16	－
その他	9	19
営業外費用合計	146	140
経常利益	2,242	2,870
特別利益		
固定資産売却益	9	－
補助金収入	168	1
保険解約返戻金	741	－
その他	－	0
特別利益合計	918	2
特別損失		
固定資産除却損	30	－
固定資産圧縮損	54	－
投資有価証券評価損	1	3
減損損失	－	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	59	－
その他	4	－
特別損失合計	151	12
税金等調整前四半期純利益	3,009	2,859
法人税、住民税及び事業税	1,083	979
法人税等調整額	239	303
法人税等合計	1,323	1,282
少数株主損益調整前四半期純利益	1,685	1,577
少数株主利益	10	26
四半期純利益	1,675	1,550

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月21日 至　平成23年12月20日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年３月21日 至　平成24年12月20日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,685	1,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	12
土地再評価差額金	31	－
その他の包括利益合計	9	12
四半期包括利益	1,695	1,590
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,685	1,563
少数株主に係る四半期包括利益	10	26

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
〔セグメント情報〕
前第３四半期連結累計期間（自平成23年３月21日 至平成23年12月20日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	電材及び管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,421	3,165	20,587	1,104	21,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	141	85	226	2,478	2,705
計	17,563	3,250	20,814	3,583	24,397
セグメント利益	2,448	183	2,632	26	2,658

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,632
「その他」の区分の利益	26
セグメント間取引消去	△0
全社費用（注）	△355
棚卸資産の調整額	0
有形固定資産の調整額	1
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	2,304

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第３四半期連結累計期間（自平成24年３月21日 至平成24年12月20日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	電材及び管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,084	3,471	22,555	1,369	23,925
セグメント間の内部売上高又は振替高	139	85	225	2,523	2,748
計	19,223	3,557	22,780	3,893	26,673
セグメント利益	2,824	239	3,063	303	3,367

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,063
「その他」の区分の利益	303
セグメント間取引消去	5
全社費用（注）	△381
棚卸資産の調整額	△3
有形固定資産の調整額	△72
四半期連結損益計算書の営業利益	2,915

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

前第３四半期連結累計期間において、「電材及び管材事業」、「配線器具事業」、「ケーブルテレビ事業」の３つを報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度において「ケーブルテレビ事業」は重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第３四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。